



平塚市民病院

令和3年度職員行動計画書

実績

★ビジョン★

「持続的な健全経営の下、高度医療、急性期医療及び
政策的医療を担い、患者さんの生命（いのち）を守る診療を行う」

★令和3年度のキー・フレーズ★

「早め早めのアプローチ」

「チームワークで“つなぐ”医療」

「全員コンシェルジュ 笑顔であいさつ」

「仕事の成果の見える化」

令和3年度職員行動計画書実績

・内科(腎臓内分泌代謝内科)・1	・救命救急センター
・呼吸器内科、アレルギー内科・2	(救急科・救急外科)・・・28
・消化器内科・・・4	・麻酔科・・・30
・循環器内科・・・5	・看護科・・・31
・神経内科・・・6	・ICU・CCU・・・32
・緩和ケア内科・・・7	・薬剤科・・・33
・精神科・・・8	・放射線技術科・・・34
・小児科・・・9	・臨床工学科・・・35
・外科・・・10	・臨床検査科・・・37
・呼吸器外科・・・11	・栄養科・・・38
・消化器外科・・・12	・医療安全管理室・・・39
・血管外科・・・13	・感染対策室・・・40
・心臓血管外科・・・14	・入退院支援・医療相談室
・脳神経外科・・・15	・・・41
・乳腺外科・・・16	・経営企画課・・・43
・整形外科・・・17	・病院総務課・・・45
・形成外科・・・18	・医事課・・・46
・皮膚科・・・19	・災害医療企画室・・・48
・泌尿器科・・・20	
・産婦人科・・・21	
・眼科・・・22	
・リハビリテーション科・	
リハビリテーション技術科・23	
・放射線診断科・・・24	
・放射線治療科・・・26	

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	内科	総括責任者	部長 厚川 和宏
病棟名	4D病棟	副責任者	主任医長 唐澤 隆明

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①開業医と密接に連携をとり、病診連携を推進します。糖尿病性腎症重症化予防事業を推進します。
 ②血液浄化療法(急性・慢性)を充実します。
 ③新型コロナウイルス感染症に対応可能な医療体制を実現します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	130.0%	102.20%	152.40%	紹介率・逆紹介率
糖尿病性腎症重症化予防プログラムを充実させる	医師、管理栄養士、看護師、病診連携室	紹介率	70%	40.06%	55.82%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①慢性腎臓病患者の腎代替療法選択のための支援を拡充します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
腎代替療法選択のための説明・相談の充実	医師、看護師	療法選択選択指導回数	延べ50回	151回	60回	(なし)
腹膜透析治療を充実させる	医師、看護師、管理栄養士	患者数、透析効率・腹膜平衡機能検査実施回数	3名、2回	4名、2回	3名、1回	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増を目指します。
 ②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携や新しい治療法による入院患者数の確保	医師	年間新入院患者数	1,636人	1,568人	1,407人	1日当たり平均入院患者数
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	月80時間を超えないようにする	36時間12分	48.4時間	職員給与費対医業収益比率
適正な入院期間での退院	医師	期間尺度(DPC入院期間 I、IIの割合)	50%以上	52.2%	46.0%	入院診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	呼吸器内科・アレルギー内科	総括責任者	部長 釣木澤 尚実
病棟名	4D病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①放射線治療科、呼吸器外科との連携により肺癌治療の迅速化に努めます。
 ②本邦最多症例を有する好酸球性多発血管炎性肉芽腫症の管理を含めた成人のアレルギー疾患の診療を充実させ、アレルギー診療としての当院のブランド化の確立を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績 (R2.4～12月)	KPI (重要業績評価指標)
肺癌カンファレンスの開催	医師	治療開始までに要した日数	呼吸器外科/放射線治療科36日	36日	呼吸器外科/放射線治療科36日	(なし)
呼吸器外科との連携強化	医師	肺癌患者紹介数	20件	28件	25件	手術件数
アレルギー診療に関する専門外来・セカンドオピニオンの充実	医師	アレルギー疾患紹介患者数	50件	80件	60件	(なし)
アレルギー疾患に関する臨床研究・症例報告を介して国内・海外への情報発信	医師	学会・論文発表数	併せて年10件	15件	14件	(なし)
アレルギー疾患の地域医療連携システムの構築	医師	勉強会の開催・逆紹介数など	120件	200件	140件	紹介率・逆紹介率

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①外来患者さんに快適な受診環境を提供します。
 ②アレルギー疾患の診断・治療を充実します。
 ③最先端の治療を組み入れた管理を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績 (R2.4～12月)	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間の短縮	医師ほか	診療時刻～受付時刻	20分	20分	20分	(なし)
呼気NOやモストグラフを入れた肺機能検査の実施。初診日に実施し早期診断を目指す。	医師ほか	初診日から1か月以内の臨床症状の改善度の評価	40%	60%	40%	(なし)
外来生物製剤注射 待ち時間の短縮	医師ほか	診察終了～注射時間	25分	30分	30分	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	呼吸器内科・アレルギー内科	総括責任者	部長 釣木澤 尚実
病棟名	4D病棟	副責任者	

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者を現在以上に大切に思いやりリピーターを増やします。
 ②EGPAに対するIVIGの入院パス化の実践により安定した一定の収益が期待できます。
 ③EGPAのIVYC短期入院により、入院期間短縮とEGPAに対するDPC係数から収益に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績 (R2.4～12月)	KPI (重要業績評価指標)
入院患者の確保・維持	医師ほか	年間入院患者数	292人	280人	251人	1日当たり平均入院患者数
EGPAに対するIVIG	医師ほか	年間入院患者数	30例	52例	40例	医業収支比率
EGPAに対するIVYC短期入院	医師ほか	年間入院患者数	30例	72例	36例	医業収支比率
アレルギー疾患全般における外来診療の充実－生物製剤の導入など－	医師ほか	年間外来患者数	延べ300例	290例	250例	医業収支比率
肺癌の化学療法	医師ほか	年間入院患者数	50例	80例	55例	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	消化器内科	総括責任者	部長 厚川 和裕
—		副責任者	主任医長 谷口 礼央

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コロナ検査で落ち込んだ上下部内視鏡スクリーニングの検査件数の回復を図ります。
②同様に、内視鏡手術件数の回復を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介率	R2実績を維持	99.55%	93.97%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	R2実績を維持	155.53%	156.03%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①内視鏡室日常業務のフロー改善による効率化を図ります。
②検査枠の空きを可能な限り減少させるため、必要症例に対しての、外来時の積極的な検査のオーダーを励行します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来待ち時間短縮による業務の効率化	医師・看護師・事務	患者1人当たりの平均診察待ち時間	前回調査比5分短縮	30分	33分	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療点数に対する若手の教育を行い、診療単価の上昇を図ります。
②検査時の使用機具を厳選し、コストの削減を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
適正な入院期間での退院	医師、看護師、退院支援室	期間尺度(DPC入院期間Ⅰ、Ⅱの割合)	60%	55.5%	50.3%	平均在院日数
開業医との連携による入院患者の確保	医師	新入院患者数	1,520人	1,237人	1,307人	1日当たり平均入院患者数
ERCP処置数の増加	医師	実施件数	10% 増加	364件	339件	医業収支比率
ESD処置数の増加	医師	実施件数	10% 増加	184件	154件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	循環器内科	総括責任者	部長 高木 俊介
病棟名	3B、ICU/CCU、救急病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①循環器救急病棟(特に急性心筋梗塞)診療の充実に努めます。
 ②近隣医療機関との連携強化・役割の明確化に努めます。
 ③医療効率の人的・時間的・空間的・経済的向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会講演会等への積極的参加、開業医訪問	医師	紹介率	80.0%	83.97%	86.05%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	100%	301.81%	358.72%	紹介率・逆紹介率
急性心筋梗塞、急性期診療体制の充実	医師、看護師、ME、放射線科技師	症例数	70人	78人	69人	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市民病院に対する市民の評価向上を図ります。
 ②高齢化に伴い疾患増加率の高い心不全患者の診療満足度向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師、看護師、DC、検査技師、事務	患者1人当たりの平均診察待ち時間	22分	37分	24分	患者満足度
医師・心不全認定看護師によるコラボレーション外来	医師、心不全認定看護師	対応患者数(月2回)	8人	10人/月 計120人	7.25人/月	(なし)
来期心不全患者に対する緩和医療の導入	医師、看護師、ソーシャルワーカー、事務、栄養士、薬剤師	対応患者数	1人	0人	0	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①入院患者を確保することで、入院稼働額の増加を目指します。
 ②職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による入院患者の確保	医師	年間紹介患者受入数(循環器内科)	140人	119人	139人	1日当たり平均入院患者数
救急搬送患者受入による重症患者確保	医師	年間救急搬送患者受入数	255人	261人	254人	1日当たり平均入院患者数
PCI(経皮的冠動脈形成術)件数	医師	年間PCI件数	140人	123人	126人	医業収支比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	619人	425人	532人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	神経内科	総括責任者	部長 田川朝子
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

①地域の病院、開業医との連携により、幅広く神経内科領域の疾患の診療をしていくよう、努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外勤医師による外来診療の充実	医師	紹介率	69.6%	73.28%	69.6%	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

①入院診療の充実を図りたいと考えています。
②職員のコスト向上に資する取り組みにより、コスト削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
県内外病院への働きかけにより、常勤医師の増員に努める。	医師	新入院患者数	84人	84人	72人	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

専門外来での多発性硬化症、視神経脊髄炎患者診療のさらなる充実をめざします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
地域の非専門医への啓蒙活動などでの働きかけ	医師	紹介患者数	213人	255人	213人	(なし)
当院看護師やソーシャルワーカー、リハビリスタッフなどへの疾患認知、情報交換を行う	医師	カンファレンスや講演会施行数など	年2回	0回	年2回	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	緩和ケア内科	総括責任者	部長 高木 俊介
病棟名	外来	副責任者	看護科長代理 大津 聡美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①緩和ケアを必要とする患者さんを積極的に拾い上げ、多職種からなるチームアプローチで質の高い緩和ケアを実現します。
②患者さんが気軽に相談できる窓口(がん相談支援センター)の充実を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
「苦痛のスクリーニング」の実施	医師、看護師、薬剤師	実施件数	1,300件/年	1,684件	1,267件	(なし)
がん相談支援センター	がん専門相談員	実施件数	100件/年	198件	89件	(なし)
多職種での合同カンファレンス (緩和ケア委員会において)	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師	実施件数	12件/年	10件	12件	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんひとりひとりの苦痛や悩み(身体的、精神的、社会的、スピリチュアルな苦痛等)を和らげる関わりをします。
②患者さん同士が気軽に安全に語り合える場(がん患者会)や緩和ケア啓発イベントなどを提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケアチームでの回診カンファレンス	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、心理士	実施回数	週4回	週4回	週4回	患者満足度
がん患者の会「なでしこの会」開催	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士など	開催回数	年2回(WEB等)	0回	0回	患者満足度
緩和ケア週間(相談、啓発イベント)の開催	医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、リハビリ技師	開催回数	年1回	0回	0回	患者満足度

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①緩和ケア内科の診療依頼件数の増加を目指します。
②がん診療に携わるすべての医師が「緩和ケア研修会」を受講し、がん性疼痛緩和指導管理料を算定します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
緩和ケア診療加算(390点)	医師、看護師、薬剤師	算定患者数	1,000件/年	1,060件	946件	医業収支比率
癌性疼痛緩和指導管理料(200点)	医師	算定患者数	180件/年	193件	157件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	精神科	総括責任者	科医長 森長 修一
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

急性期治療における精神科介入によって、患者のQOL向上や効率的な業務遂行に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
院内からの診療依頼件数の増加	医師	他科依頼件数	前年度比5%増	640件	764件	(なし)
不眠時頓服薬の適正化	医師	ゾルピデム処方の減少	前年度比10%減	3,230錠	3,662錠	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに快適な受診環境を提供するよう努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来診療枠の適正化による待ち時間の短縮	医師	外来待ち時間	21分	19分	21分	患者満足度
患者に分かりやすいホームページの作成	医師	ホームページ見直し回数	1回	1回	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

必要な加算を適宜取得し、コスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
精神科リエゾンチーム加算の取得	リエゾンチーム	算定件数	1,555件	1,229件	1,481件	医業収支比率
入院、外来患者の精神療法を行った際の指導料を算定	医師	算定件数	4,300件	3,655件	4,089件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	小児科	総括責任者	部長 福島 直哉
病棟名	5D小児科病棟、NICU、GCU	副責任者	看護師長 川邊 康子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 質の高い高度医療を提供するため、紹介患者を中心とした診療を展開します。
 ② 小児救急・周産期救急医療維持のため必要な小児科医を確保します。
 ③ 産科と連携し、地域の産婦人科開業医からの新生児・母体搬送を積極的に受け入れます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための開業医との連携	医師	紹介率	90.0%	77.38%	86.5%	紹介率・逆紹介率
開業医への逆紹介の推進による外来業務の効率化	医師	逆紹介率	30.00%	22.62%	25.9%	紹介率・逆紹介率
小児救急・周産期救急医療体制維持のため必要な小児科医の確保	医師	小児科医師数	10人	9人	9人	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 24時間、365日小児・新生児の受け入れに努力します。
 ② 小児病棟・NICU・GCUにぬくもり空間を作ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
小児救急・周産期救急医療体制のため必要な小児科医の確保	医師	小児科医師数	10人	9人	9人	産科・小児科(周産期)の二次救急当番実施率
クリスマス会などの各種イベントの開催	医師・看護師・保育士	イベント・読み聞かせ開催数	イベント年 2回以上	0回	1回	患者満足度

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 空床を減らし病床を有効に活用します。
 ② 総合入院加算維持のため逆紹介を推進し、外来縮小体制をとります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
予定入院増加による空床の有効活用	医師	予定入院数	前年度比 5%アップ	175件	134件	病床利用率
地域開業医との連携・逆紹介推進による外来縮小体制	医師	総合入院体制加算 治癒・退院率	55%	50.8%	40.3%	1日当たり平均外来患者数
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	657人	705人	565人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	外科	総括責任者	部長 中川 基人
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術（高度な医療）が必要な患者に24時間365日、一件でも多くの外科手術を提供します。
 ②双方で顔の思い浮かぶ病診連携により外来診療を縮小します。
 ③多職種連携チームの活動を通じてSSIの減少に取り組みます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
技術習得等による手術実行数の増	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,200件/年	1,153件	1,104件/年	手術件数
信頼関係の強い病診連携先数を得るための開業医訪問回数増	医師、事務職	訪問回数	2回/月以上	5回/年	0回	紹介率・逆紹介率
SSI(術後創感染)発生率の減	医師、事務職	消化器外科でのSSI発生率	6.0%未満	4.4%	2.6%	(なし)
診療情報提供の積極的な実施	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科、救急外科全体での退院時診療情報提供書の率	40%	37.2%	41.1%	総合入院体制加算 退院時治癒・紹介率

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

分かりやすい説明により、患者さんが安心して受診できる体制を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
ホームページの充実	医師、薬剤師	外科ホームページの更新回数	3回/年	1回	4回/年	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

収入確保と支出削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術を数多く行うことによる診療稼働額増及び診療単価増	医師	消化器外科、乳腺外科、血管外科の手術件数	1,200件/年	1,153件	1,104件/年	医業収支比率
サージレーンの解析結果を業者、事務職と協力して分析し、手術に関する支出を減少させる	医師・事務職・業者	実施	実施	実施	—	診療材料費対医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	呼吸器外科	総括責任者	科医長 生駒 陽一郎
病棟名	3D病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域連携により外来診療効率化や紹介患者を確保に努めます。
また業務の見直しや教育などにより入院診療の効率化に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医へのチラシ配布や訪問などによる紹介患者の確保	医師	紹介率	133.63%	131.25%	127.27%	紹介率・逆紹介率
患者紹介による手術件数の確保	医師	手術件数	60件	61件	56件	手術件数
クリニカルパスの導入	医師、看護師、事務職	パスの作成、運用	1	0	0	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

診療の質を向上することで患者満足度を改善します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
術後合併症による再手術の減少	医師	術後再手術件数	0件	0件	1件	患者満足度

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病床稼働率の向上や適切な医材使用による収入の確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
在院日数の最適化などによる入院診療単価の増加	医師	入院診療単価	132,959円	147,855円	126,628円	入院診療単価
地域連携に基づく入院患者数の確保	医師	入院患者数	116人	105人	100人	1日当たり平均入院患者数
手術毎の自動縫合器超過使用本数の削減	医師	自動縫合器超過使用本数	33本	13本	35本	診療材料費対医業収益比率
DPC入院期間Ⅱまでの退院	医師	期間尺度(DPC入院期間Ⅱまでの退院率)	85.7%	89.0%	85.7%	入院診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	消化器外科	総括責任者	部長 高野 公徳
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より多くの症例に対応し、医療の質の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
一般消化器外科手術症例数の増加	医師	手術症例数	750 件	786件	719 件	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

より詳細な情報発信により、安心して受診していただける環境を構築します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
病院ホームページの充実	医師	内容の充実	より詳細な記載	より詳細な記載	詳細な記載	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

多くの症例の手術に対応することで、患者を確保するとともに、収入増を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術症例の増加による入院診療単価の増	医師	入院診療単価	前年度比5%増	108,252円	98,633円	入院診療単価
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	777人	718人	668人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	血管外科	総括責任者	科医長 林 啓太
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①低侵襲治療を積極的に導入し、在院日数削減を目指します。
 ②効率的な業務遂行のため、業務内容の定型化を目指します。
 ③チーム医療を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
DPC入院期間Ⅱまでの退院	医師	期間尺度(DPC入院期間Ⅱまでの退院率)	80%以上を維持	84.2%	86.5%	(なし)
クリニカルパスの導入	医師・看護師	クリニカルパス実施数	50件	40件	0件	(なし)
他科との連携	医師	手術症例数	60%	52.23%	61.92%	手術件数

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんに最新の情報を分かりやすく発信します。
 ②患者満足度向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術説明書の見直し	医師	見直した資料の種類	9種類	0種類	0種類	(なし)
外来の待ち時間縮小	医師	外来待ち時間	30分以内	19分	25分	(なし)

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コロナ禍においても可能な限り手術件数を維持します。
 ②診療科稼働額維持、査定率減少による増収を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術件数の維持	医師	手術件数	200件	224件	218件	医業収支比率
診療科稼働額の維持	医師	診療科稼働額(入院)	150,000,000円	125,727,837円	142,215,583円	医業収支比率
詳細な症状詳細記載による査定率の減少	医師	査定率	1次査定 1%以下	0.64%	1.05% (R2.4～R3.1)	医業収支比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	130人	113人	112人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	心臓血管外科	総括責任者	部長 笠原 啓史
病棟名	3B病棟	副責任者	看護師長 池谷 綾

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①紹介患者獲得のため、循環器内科医との病診連携の継続と新規開拓を行います。
 ②低侵襲手術（大動脈ステントグラフト内挿術）を提供します。
 ③心臓大動脈疾患の緊急症例（急性期・救急医療）に対応します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため病診連携の継続	医師	紹介手術件数	60人	59人	53人	手術件数
人工心臓装置を使用しない胸部大動脈手術	医師	手術件数	10人	6人	18人	手術件数
心臓大動脈疾患の緊急症例に対応	医師	手術件数	6人	19人	6人	手術件数

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんに分かりやすい医療を実践します。
 ②患者さんに快適な入院環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者さんに分かりやすい手術説明	医師	苦情件数	0件	0件	1件	患者満足度
親切かつプライバシーに配慮した病棟回診	医師、看護師	お褒めの言葉の数	2件	3件	1件	患者満足度

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①紹介患者獲得のため、循環器内科医との病診連携の継続と新規開拓を行います。
 ②輸血、点滴、抗生剤などについて、必要最低限の使用を目指します。
 ③内視鏡併用低侵襲心臓手術を導入し、手術単価の増加を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため病診連携の継続	医師	紹介手術患者数	60人	59人	54人	1日当たり平均入院患者数
無駄な薬剤使用の是正	医師	査定率	1%以下	0.21%	0.86%	(なし)
内視鏡併用低侵襲心臓手術の導入による単価の増加	医師	手術件数	1人	0人	不明	1日当たり平均入院患者数
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	138人	121人	119人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	脳神経外科	総括責任者	部長	中村 明義
病棟名	3A、救急、ICU	副責任者	医長	菊地 亮吾

I 医療の質と効率の視点【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 地域医療支援のため、紹介及び逆紹介を積極的に行います。
 ② 重症患者の診療を中心に行うため、手術室の有効利用を図り、手術件数の増加に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医との連携による紹介の推進	医師	紹介率	60.0%	49.15%	54.01%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	160.0%	126.10%	148.52%	紹介率・逆紹介率
紹介、救急症例の増加による手術件数の増加	医師、看護師	手術件数	200件	164件	158件	手術件数

II 患者満足の視点【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

重症患者を受け入れ、いつでも緊急手術に対応可能な体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
緊急手術件数の増加	医師、看護師	緊急手術件数	150件	109件	109件	(なし)

III 経営・財務の視点【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 入院患者を確保することで入院稼働額の増を目指します。
 ② 職員のコスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
重症患者確保による入院診療単価の増加	医師	年間入院診療単価	99,000円	79,194円	90,158円	入院診療単価
1日当たり平均入院患者数	医師	1日当たり平均入院患者数	15人	16.6人	11.2人	1日当たり平均入院患者数
DPC入院期間Ⅱまでの退院	医師、看護師、MSW	期間尺度(DPC入院期間Ⅱまでの退院率)	76.2%	62.7%	76.2%	入院診療単価
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数	70時間	63時間18分	75時間15分	職員給与費対医業収益比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	357人	342人	307人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	乳腺外科	総括責任者	部長 米山 公康
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

対外的活動を増進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
市主体乳がん検診の実施・協力	医師	実施件数	可能な限り多く	596件	403件	紹介率・逆紹介率
退院時診療情報提供書作成の徹底	医師	作成件数	前年度を上回る	38件	18件 (R2.4～R3.2)	紹介率・逆紹介率
多職種カンファレンスの継続 (画像/週1回、病理/月1回)	医師・技師	実施回数	前年度維持	画像:週1回 病理:月1回(12回)	病理11回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

媒体の積極的活用により、患者さんに安心して受診していただける体制を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
日曜乳がん検診の実施(恒常化を図る)	医師・技師・看護師	実施回数	2回	2回	1回	患者満足度
ホームページの充実	医師	改訂回数	2回	1回	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

医療資源を効率的に活用します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
化学療法の積極的実施	医師	化学療法施行数	前年度を上回る	758件	876件	外来診療単価
新規乳癌手術件数の維持・使用資材の効率化	医師	手術件数	前年度を上回る	98件	94件	医業収支比率
全身麻酔下手術の推進・使用資材の効率化	医師	手術件数	前年度を上回る	106件	103件	医業収支比率
自費検査(OncotypeDX)の値上げと実施の促進	医師	施行件数	前年度を上回る	23件	16件	外来診療単価
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	149人	119人	128人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	整形外科	総括責任者	部長 加藤 創太
病棟名	4B病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①脊椎・関節・手の外科領域で専門性の高い手術医療を提供します。
 ②救急救命センター・麻酔科・手術室と連携し、適確かつ迅速な急性期医療を提供します。
 ③開業医との連携により、医療連携による役割の明確化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
手術件数増加による手術室の適正運用の推進	医師	整形外科手術件数	1,000件	1,038件	905件	手術件数
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介患者数	前年度比5%増	623人	535人	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による紹介患者の獲得	医師	紹介率	前年度比5%増	86.41%	84.12%	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	前年度比維持	193.20%	214.15%	紹介率・逆紹介率
退院時診療情報提供書作成の推進	医師	総合入院体制加算 治癒・退院率	前年度比5%増	38.4%	41.0%	総合入院体制加算 退院時治癒・紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

わかりやすい情報提供をおこない、患者さんにとって安心できる診療体制を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化による外来待ち時間の短縮	医師、外来看護師、事務職	患者一人あたりの平均待ち時間	30分以内	22分	35分	(なし)
市民健康講座(院内講座)の開催	医師	市民健康講座開催数	1回	0回	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①専門性の高い手術治療および急性期治療を積極的におこない、入院患者を確保すると共に収益の増加を図ります。
 ②職員の業務効率化を図り、コスト削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
開業医および救急救命センターとの連携による新入院患者の確保	医師	年間新入院患者数	1,033人	1,047人	888人	医業収支比率
専門性の高い手術治療の実施による入院診療単価の増加	医師	入院診療単価	前年度比5%増	82,639円	75,020円	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	一人当たり時間外勤務時間数(月)	前年度比5%減	43時間54分	43時間12分	職員給与費対医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	形成外科	総括責任者	部長	杉木 正
—		副責任者	医師	下野 綾乃

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のために案内状を送付します。	医師	送付通数	10通	530通	0通	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さん のために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんに分かりやすい情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者に分かりやすいホームページの作成	医師	ホームページ見直し回数	1回	1回	0回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

患者アクセスのよい外来手術件数の増加を通して医業収益の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来手術件数の増加	医師	10%増加	200件	441件(532件救急含む)	—	手術件数
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	77人	76人	66人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	皮膚科	総括責任者	科医長	栗原 佑一
病棟名	3A	副責任者	師長	秦野 歩

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

病院として求められる、質の高い、適切な医療提供を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
再診患者の逆紹介を推進する	医師	外来患者数の減少	55人/日	63.9人/日	59.0人/日	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

検査や病院で求められる治療に重点を置き、待ち時間短縮を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来の待ち時間の減少(逆紹介により)	医師	診察待ち時間	33分	28分	33分	患者満足度
日帰り手術 待機期間の短縮	医師、看護師	手術待機期間	2ヶ月	1.5ヶ月	2.5ヶ月程度	患者満足度

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員のコスト意識の向上と業務効率化によるコスト削減により単価の上昇を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
スタッフミーティングによるコストへの意識を高める	医師、看護師、事務	ミーティング実施回数	2ヶ月に1回	5回	5回	診療材料費対医業収益比率
入院治療のパス化を促進する	医師、看護師	パス患者数	45%	30.81%	38.90%	診療材料費対医業収益比率
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	215人	171人	185人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	泌尿器科	総括責任者	科医長 澤田 康弘
病棟名	3D病棟	副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①開業医との連携強化を図ります。
②最先端の手術の導入を目指します。
③外来手術の導入、実施を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のための連携(外来協力)	医師	外来協力回数	週1回	週1回		紹介率・逆紹介率
手術症例の相互紹介	医師	逆紹介患者数	250人	348人	178人	紹介率・逆紹介率
安全な手術の実施による手術件数の増加	医師	手術件数	400件	486件	340件	手術件数
手術支援ロボットの導入	医師	ロボット支援手術の実施	10件	0件	0件	手術件数
外来手術の導入、実施	医師	外来手術件数	60件	61件	0件	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者さんに快適な診察環境を提供します。
②患者さんにわかりやすい情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
業務の効率化、外来待ち時間の短縮	医師	外来待ち時間	前年度比10%短縮	22分	32分	患者満足度
患者にわかりやすいホームページの作成	医師	ホームページ見直し回数	2回	0回	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①必要患者に対する適切な入院加療を行い、過剰医療の抑制に努めます。
②職員のコスト意識向上に資する取り組みにより、コスト削減に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
必要患者の入院を対応、開業医との連携による新入院患者の確保	医師	年間新入院患者数	443人	503人	381人	医業収支比率
合併症のない手術を遂行し、効率の良い病棟運営	医師	入院診療単価	前年度比5%増	88,622円	77,177円	医業収支比率
業務の効率化による時間外勤務の削減	医師	1人あたりの時間外勤務時間数(月)	前年度比3%減	63時間30分	71時間41分	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	産婦人科	総括責任者	部長	笠井 健児
病棟名	5D産科 他	副責任者	部長	藤本 喜展

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①市内診療所との連携を強化します。
②県内病診との連携を強化します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
神奈川県産科婦人科医会部会参加 (総務部会・周産期部会)	医師	紹介率	70.0%	74.79%	69.74%	紹介率・逆紹介率
平塚市産婦人科医会運営・参加	医師	紹介率	70%	74.79%	69.74%	紹介率・逆紹介率
逆紹介推進	医師	総合入院体制加算 退院時治療・紹介率	40%	12.8%	19.9%	総合入院体制加算 退院時治療・紹介率

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①分娩における医療環境を整備します。
②緊急時の対応を整備します。
③女性診療環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
母体搬送の積極的受け入れ	医師・助産師	受け入れ患者数	25件	24件	27件	分娩件数
周産期救急の受け入れ	医師・助産師	受け入れ患者数	300件	300件	237件	産科・小児科(周産期)の二次救急当番実施率
医療圏の婦人科救急	医師・助産師	受け入れ患者数	25件	39件	38件	産科・小児科(周産期)の二次救急当番実施率

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①診療レベルを維持しながら、入院期間を短縮し、入院患者数を増加します。
②子宮頸癌ワクチン接種が再度推奨された折には、積極的に接種します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
入院患者の(再)増加	医師	入院患者数	R1水準	7,881人	7,832人 8,811人(R1)	1日当たり平均入院患者数
悪性腫瘍手術、腹腔鏡下手術増加による入院診療単価増加	医師	入院診療単価	72,000円	79,885円	76,781円	入院診療単価
術創管理変更による入院日数短縮*	医師	平均在院日数	R1水準-1(日)	8.4日	8.6日 9.1日(R1)	平均在院日数
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	1,147人	1,005人	986人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	眼科	総括責任者	部長 白石 亮
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

開業医との連携を深め、地域医療の充実を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
紹介患者獲得のため、医師会眼科部会への参加等	医師	参加回数	1～2回	0回	0回	紹介率・逆紹介率
開業医との連携による逆紹介の推進	医師	逆紹介率	150%	120.64%	193.83%	紹介率・逆紹介率
科内カンファレンス	医師、看護師、視能訓練士等	開催数	毎月1回	2回	1回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①診療、手術待ち時間の短縮に努め、患者満足度向上に努めます。
②白内障手術の入院日数を多様化して、患者満足度向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
1泊2日バスの実施率	医師	1泊2日入院の症例割合	50%	65.7%	—	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①手術患者を確保することで、入院稼働額増を目指します。
②コスト意識向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
新入院患者数の増加	医師	新入院患者数	197人	179人	169人	1日当たり平均入院患者数

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	リハビリテーション科 リハビリテーション技術科	総括責任者	科部長 科長	加藤 創太 磯谷 誠
—		副責任者	科長代理	笠原 まゆみ 金野 千帆

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

ICU・CCUにおいて超急性期リハビリテーションを実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
ICU・CCUでのリハビリテーション実施単位数	リハ技師	実施単位数	1000単位	1,034単位	704単位	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

リハビリテーション専門医師等によるリハビリテーション診察を実施し、計画的にリハが施行出来るよう努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
リハ医等によるリハ診察の実施	医師	診察人数	1,300人	1,348人	1,284人	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

指示・実施単位数や加算の積極的な取得により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
リハビリテーション科全体の実施単位数	医師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	単位数	40,000単位	43,651単位	40,035単位	経常収支比率
理学療法士の実施単位数	理学療法士	単位数	25,000単位	28,909単位	27,306単位	経常収支比率
作業療法士の実施単位数	作業療法士	単位数	9,000単位	9,650単位	8,950単位	経常収支比率
言語聴覚士の実施単位数	言語聴覚士	単位数	6,000単位	5,092単位	3,779単位	経常収支比率
リハビリテーション総合実施計画書の作成及び算定	医師、看護師、理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	件数	2,500件	2,276件	2,314件	経常収支比率
退院時指導の算定	理学療法士、作業療法士、言語聴覚士	件数	1,200件	1,261件	1,171件	経常収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長 屋代 英樹
—		副責任者	主任医長 小林 真紀子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①CT・MRIを初めとする画像診断機器の有効的活用による検査数の増加と、共同利用数の増加を図ります。
 ②画像診断管理加算2体制の維持による臨床医への速やかな検査結果報告による医療の質向上を図ります。
 ③ドクターズクラーク導入によるワークシェアなどによる医師の事務作業時間の短縮、時間外労働の減少を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
CT検査予約待ちの解消の体制を維持する	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	即日実施	即日実施	即日実施	(なし)
MRI検査予約待ちの短縮を図る	医師、放射線技師	検査予約待ち日数	ルーチン5日 精査10日	ルーチン1日 精査5日	ルーチン0日 精査8日	(なし)
紹介患者獲得のための開業医への連携強化	医師、放射線技師 地域連携室	紹介数	委託検査維持	2,181件	2,011件	紹介率・逆紹介率
画像診断管理加算2体制の維持	医師	翌診療日読影率	80%以上	96%	98%	(なし)
医師の事務作業時間の短縮	医師、ドクターズクラーク	時間外労働時間	放射線診断科平均時間外	51時間12分	69:30:00	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①土曜日・日曜日のMRI委託検査の実施により地域医療へ貢献します。
 ②夜間・休日読影により質の高い救急医療へ貢献します。
 ③緊急IVR体制の確保により安心できる救急医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
土曜日・日曜日MRI委託検査の実行	医師・放射線技師	MR検査委託数	MR委託検査維持	772件	642件	(なし)
夜間・休日読影	医師	夜間休日読影率	80%以上	100%	100%	(なし)
緊急IVR応需体制維持	医師・放射線技師 看護師	緊急・準緊急IVR件数	60件以上	125件	86件	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線診断科	総括責任者	部長 屋代 英樹
—		副責任者	主任医長 小林 真紀子

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①大血管センターの一員として心臓血管外科・血管外科との協力体制の元、ステントグラフト治療を行い、心臓外科・血管外科の入院診療単価の向上を目指します。
- ②IVR-CTを利用した高度な治療の提供により、肝動脈化学塞栓術・血管形成等の手技を施行し診療単価の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
ステントグラフト治療数	医師	手術数	30件以上/年	18件	37件	入院診療単価
肝動脈化学塞栓術	医師	手術数	40件以上/年	37件	44件	入院診療単価
血管形成術	医師	手術数	60件以上/年	81件	93件	入院診療単価
肝腫瘍ラジオ波焼灼術・マイクロ波凝固術	医師	手術数	10件以上/年	8件	14件	入院診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	今宮 聡
—		副責任者	医長	早田 格

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①高精度照射症割合の増加及び治療(照射)時間の短縮化に努めます。
②光学的患者ポジショニングシステムによるセットアップ精度の向上による収益性向上の準備をします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
前立腺癌、婦人科癌のVMAT(強度変調回転照射)への移行	医師・技師	前立腺癌、婦人科癌VMAT症例数	25人	61人	5人	(なし)
脳定位照射の患者数増加	医師・技師	脳定位照射症例数	8人	4人	5人	(なし)
IMRT治療(照射)時間の短縮 IMRT症例のVMAT移行促進	医師・技師	VMAT症例数	20人	61人	5人	(なし)
近接放射線治療施設との相互紹介	医師	他院放射線治療科、依頼科との相互紹介	3件以上	5件	9件	(なし)
光学的患者ポジショニングシステムの運用準備モニタリング	医師・技師	運用準備の可否	臨床運用可能状態の実現	使用不可以外全例	なし	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①放射線治療の理解を深めます。
②照射精度を保ちながら皮膚マーキングを減らし、審美性を高めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
学会作製ビデオなど放射線治療説明の上映及び改訂	医師	上映継続、改訂成否	上映継続改訂 1回	上映継続改訂1回	上映中	患者満足度
放射線治療説明書の改訂	医師	改訂数	5件	10件	6件	患者満足度
光学的患者ポジショニングシステムの運用準備	医師・技師	臨床運用の担保	臨床運用可能状態の実現	6/29よりIGRT保険請求開始	なし	(なし)
治療計画装置造設時の治療準備期間短縮	医師・技師	治療計画期間の短縮	7～10日	7～10日	14～20日	患者満足度

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線治療科	総括責任者	部長	今宮 聡
—		副責任者	医長	早田 格

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 治療単価を増加させます。
- ② 治療計画装置増設時の超過勤務時間を削減します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
IGRT(画像誘導放射線治療)の件数増加	医師・技師・医療事務	治療単価	前年度比3%増	21,870円	17,919円	医業収支比率
IGRT(画像誘導放射線治療)の点数増加	医師・技師・医療事務	IGRT加算高点数化	件数と併せて前年比3.5%増	IGRT 骨300点:42件 腫瘍450点:73件 体表150点:52件	IGRT(骨300点) 93件 IGRT(腫瘍450点) 8件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護師長	河合 清美

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 生命の危機に瀕した重症患者を受け入れます。(2) COVID-19患者・疑似症患者を受け入れます。
- 救命救急センター内の職種の垣根を越えた連携を図り、よりよいチーム医療を実践します。
- 重症患者の治療にあたり、『多職種回診』を行いチーム医療を実践します。
- 地域救急隊との連携を向上させます。
- 地元医師会と連携し、救急医療と在宅医療の連携をはじめます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
近隣消防本部への挨拶回り	医師・事務(医事課)	訪問回数	2回	2回	2回	(なし)
救急患者受入数	医師	受入患者数	8,400人	9,494人	8,059人	救急患者受入数
救急搬送患者入院率	医師	受入患者数のうち 入院した患者の率	32.0%	31.5%	31.7%	救急患者受入数
年間重篤患者数 (厚生労働省「救命救急センターの充実段階評価」)	医師	重篤患者数	1,100人	1,111人	1,068人	(なし)
特定集中治療室用の重症度、医療・看護必要度の基準を満たす患者の入院割合	医師	重篤患者数	15%	26.7%	22.70%	重症度、医療・看護必要度(特定集中治療室)
救命救急センター会の開催	医師・看護師	救命救急センター会の回数	月1回(8月を除く)	月1回	コロナのため1回	(なし)
多職種カンファレンスを行う	医師・看護師・薬剤師・ リハビリ技師・MSW	カンファレンスの回数	週1回	週1回	週1回	(なし)
救急事例検討会の開催	医師・事務(医事課)	開催回数	2回	コロナのため0回	コロナのため0回	(なし)
救急医療と在宅医療の連携会議	医師会・医師・事務	会議参加数	2回	コロナのため0回	コロナのため0回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- 救命救急センターとして、「断らない救急医療」を実践します。
- 救命救急センターとして、救急医療に関する情報を発信します。
- 接遇を向上させると共に、受診時間の短縮に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
救急隊からの受入れを促進する	医師	応需率	98%	98.2%	98%	(なし)
様々なツール(病院本、Smile!・ホームページ)を通じた広報活動	医師・看護師	情報発信したツール数	1件	0件	1件	情報発信件数
接遇を向上させる	医師・看護師	クレーム数	10件未満	医師1件	0件	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	救急科・救急外科 救命救急センター	総括責任者	救命救急 センター長	葉 季久雄
病棟名	救命救急センター (救急外来・救急病棟)	副責任者	看護師長	河合 清美

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①救急搬送件数を増加させます。
 ②入院患者数(軽症経過観察・重症集中治療)を増加させ、入院稼働額の増加をめざします。
 ③コロナ禍における救急病棟の効率的運用方法を見出します。
 ④救急外来スタッフのコスト意識の向上を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	受入患者数	8,400人	9,494人	8,059人	(なし)
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	平均外来患者数	15人	15.2人	13.6人	1日当たり平均外来患者数
救急患者受入数増加 とくに重症患者受入数増加(救急外来)	医師	外来診療単価	27,950円	30,993円	30,065円	外来診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院診療単価	救急科113,205円 救急外科115,146円	救急科140,820円 救急外科113,972円	救急科137,168円 救急外科150,078円	入院診療単価
重症患者を中心とした入院管理を行い、入院稼働額をあげる	医師	入院患者数	100人/年	救急科198人 救急外科47人	救急科144人 救急外科64人	(なし)
救急病棟の入院稼働率(利用率)上昇	医師・看護師・事務	病床利用率	55% (空床の5床を運用しているとして80%)	57.8%	63.7%	病床利用率
救急病棟の入院稼働額上昇	医師・看護師	入院診療単価	136,797円	171,213円	153,378円	入院診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	麻酔科	総括責任者	部長	中川 基人
病棟名	手術室	副責任者	医長	唐木田 曜

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療の提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
麻酔科管理手術件数の増加	医師	麻酔科管理手術件数	3,000件	3,085件	2,726件	手術件数
全身麻酔件数の増加	医師	全身麻酔件数	2,500件	2,829件	2,317件	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんの痛みが少ない麻酔を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
神経ブロックの実施	医師	神経ブロック実施件数	150件	206件	136件	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

職員給与対医業収益比率の改善に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
業務効率化による時間外勤務の削減	医師	1人当たり時間外勤務時間数(月)	前年比5%減	15時間12分	26時間40分	職員給与対医業収益比率
業務調整による非常勤医師時間外勤務の削減	医師	年間時間外勤務時間数	前年比10%減	410時間	558時間	職員給与対医業収益比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	看護科	総括責任者	看護部長	本谷菜穂子
—		副責任者	副看護部長	稲村ほづみ 山中享子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 高度医療に対応できる質の高い看護の提供に努めます。
② 入退院支援におけるチーム医療の推進に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
救急外来トリアージの拡大	救命救急センター師長・同看護師	小児のトリアージ件数	250件以上(小児救急予測850件として30%)	29.20%	小児救急患者833件トリアージ実績なし	(なし)
PFMの推進に向け入院前面談の拡大	外来看護師・4B / 5AB病棟・入退院支援室副看護部長・看護部長	乳腺外科・循環器内科・消化器内科予定入院	入院前面談350件	432件	入院前面談91件	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 患者に選ばれる病院づくりに努めます。
② 産後うつ防止に向けた取り組みを推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
専門職として品格ある接遇	全看護職員	患者満足度調査における接遇項目	病棟90%以上 外来90%以上	病棟96.7% 外来98.1%	病棟88.8% 外来76.9%	患者満足度
「産後うつ」防止に向けた2週間健診の拡大	5D産科病棟・産科外来/看護部	健診受診と指導件数	280人(年間分娩予測400人として70%)	204件 (対象の54.1%)	初産婦200人中136人(68%)	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① コロナ禍においても運用可能病床の80%稼働維持に努めます。
② 看護職員の「働き方改革」を推進します。
③ 看護職員の人材確保に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
効率的な病床管理	看護部長・副看護部長・師長・病床管理担当・感染担当医師	病床利用率	90%以上	74.0%(許可病床ベース) 81.2%(稼働病床ベース)	83.4%	病床利用率
看護職員の「働き方改革」の検討と時間外削減	看護部長・副看護部長・師長	一般病棟(成人)の看護職員一人あたりの月平均時間外	10時間以下	7.6時間	11.14時間	(なし)
人材確保・定着	看護部長・副看護部長・師長・事務(総務課)	常勤看護師採用	60人/年	36人	52名	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	全科	総括責任者	室長	中川 基人
病棟名	ICU/CCU	副責任者	師長	高橋 しのぶ

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度な医療を提供するICU/CCUの運営を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
正しい感染対策を実施し、感染予防が出来る	医師、看護師	クラスターの発生件数	0件	0件	0件	(なし)
ICU/CCU管理が必要な予定入室症例が利用できる運用	医師、看護師	ICU/CCU満床時以外の応需率	100%	100%	100%	手術件数

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

ICU/CCUとして患者ご家族から信頼され、安心される環境を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者の要望を十分に聴取する	医師、看護師	苦情件数	0件	0件	0件	患者満足度
面会時、電話対応時積極的に意思疎通を図る	医師、看護師	お褒めの言葉	10件	6件(口頭、手紙)	7件	患者満足度

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

病院収益に貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
病床利用率向上を図る	医師、看護師	病床利用率	100%	65.2%	57.80%	1日当たり平均入院患者数
重症度、医療、看護必要度の基準をクリアする	医師、看護師	A項目3点B項目4点をクリアする患者の割合	80%	93.7%	94.10%	(なし)
ICU/CCU加算未算定患者(21日以上在室患者含む)を減らす	医師、看護師	ICU/CCU加算未算定患者数(21日以上在室患者含む)	5人以下	14人	7人	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	薬剤科	総括責任者	部長 高田 みゆき
—		副責任者	科長 門倉 徹

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

適正かつ経済的な薬物使用に寄与します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
定数配置薬品の払出し方法を変更する	薬剤師、看護師	病棟定数配置薬品・臨時請求薬品の使用状況把握	使用状況表に基づき払出し	上期と同様(本館6病棟)	—	(なし)
定時注射薬施用単位払出しの推進	薬剤師、医師、看護師	週末の施用払出しの実施率を上げる	全病棟で実施する	週末含め全病棟施用払出し実施	月～木曜日のみ(3病棟は全て施用単位)	(なし)
臨時注射の払出し方法の変更を検討する	薬剤師、医師、看護師	臨時請求薬品の使用状況把握	今年度の一部変更し実施する	アレルギー内科、乳腺外科、泌尿器科、皮膚科で実施	—	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや地域市民のみなさんへ薬の正しい服用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
服薬指導(入院患者薬剤管理指導料、入院患者退院時薬剤情報管理指導料)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数＋退院指導算定件数)	11,000件	12,665件(薬剤管理指導料9,536件、退院時薬剤情報管理指導料3,129件)	11,480件	(なし)
薬薬連携の推進	薬剤師、医師、看護師、病診連携、保険薬局	地域かかりつけ薬局との連携を図る	ホームページの改訂	乳腺外科の化学療法レジメン公開	—	患者満足度

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ・薬品購入費の削減に努めます。
- ・服薬指導の積極的な実施により収入を確保します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
後発医薬品への切替え推進	薬剤師	後発品の切替え率	90%以上	94.7%	93.5%	後発医薬品の使用割合
服薬指導(入院患者薬剤管理指導料、入院患者退院時薬剤情報管理指導料)の実施	薬剤師	服薬指導算定件数(入院服薬指導算定件数＋退院指導算定件数)	11,000件	12,665件(薬剤管理指導料9,536件、退院時薬剤情報管理指導料3,129件)	11,480件	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	放射線技術科	総括責任者	科長	石川 修二
—		副責任者	科長代理	河並 昭彦

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 地域医療連携で医療機器の共同利用を推進します。
- ② 高精度治療IMRT (VMAT)を推進します。
- ③ 医療提供する技師の専門資格を保持します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器の委託検査推進 (CT、MR、RI)	放射線技術科、地域連携室、放射線診断部	委託検査数	1,800件	1,802件	1,736件	紹介率・逆紹介率
高精度治療IMRT (VMAT)の推進	放射線技術科 放射線治療部	患者数	30件	64件	21件	(なし)
技師の専門資格保持	放射線技術科	延べ人数	35人	37人	38人	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 放射線検査の線量を測定し、放射線検査の線量の最適化を図ります。
- ② 救急センターからの検査対応能力の強化を図ります。
- ③ 技術科職員の接遇向上に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
被ばくワーキンググループを中心に線量最適化	放射線技師	DRLS2020の線量を目標とする	100%	100%	DRLS2015に対応	(なし)
救急センターからのMR頭部、脊椎について対応	放射線技師	夜勤技師の習熟率	100%	100%	85%	(なし)
サービス部会から患者の声で注意がないよう、技術科職員の接遇向上	放射線技師	科内検討回数	3回	3回	1回	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① MRの土曜日曜の検査を定着させMR委託検査数を増加させ収入を増加する。
- ② 治療の品質管理体制を維持し治療加算を維持する。
- ③ 放射線機器の修理費を削減します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
MR委託検査数	放射線技師、放射線診断部医師、地域連携室	MR委託検査数	700件	711件	640件	医業収支比率
治療品質管理体制の維持	放射線技師	現状の加算体制の維持	加算体制維持	加算維持	加算体制維持	医業収支比率
放射線技術科での修理費の削減	放射線技術科管理職	修理費定価から15%減	修理費16%減	19%	修理費16%減	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤義雄
—		副責任者	主任医療技師	中西利基

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

質の高い高度医療機器を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
医療機器を安心して使用できる質の高い体制 (保守・点検の実施)	臨床工学技士	管理機器点検数	15,000件	15,059件	14,287件	(なし)
医療機器を安心して使用できる質の高い体制 (MEコンサルジュ、御用聞き)	臨床工学技士	病棟ラウンド数	4,800件	5,019件	4,769件	(なし)
診療科の業務依頼への初期対応	臨床工学技士	返答数	16%	44.10%	8%	(なし)
医療機器安全研修のWEB化	臨床工学技士	参加人数	250件	102名	200名	(なし)
管理機器安全使用の推進	臨床工学技士	確認表の電子化	10機種	13機種	—	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①断らない治療を実現する臨床技術を提供します。
②患者さんに分かり易い情報発信を行います。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
非透析日の対応数をあげる	臨床工学技士	対応件数	30件	29件	23件	(なし)
非心臓カテーテル検査日の対応数をあげる	臨床工学技士	対応件数	80件	74件	72件	(なし)
非心臓血管手術日の対応数をあげる	臨床工学技士	対応件数	8件	16件	4件	(なし)
分かり易いホームページの作成	臨床工学技士	ホームページ見直し回数	2回	2回	1回	情報発信件数
より良い透析環境の確保	医師 臨床工学技士	実施人数	8名	26名	5名	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	臨床工学科	総括責任者	科長	熊澤義雄
—		副責任者	主任医療技師	中西利基

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①コストの削減を目指します。
②職員の意識改革を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
臨床工学科の使用物品の見直し	臨床工学技士	コストの削減	3件	3件	1件	診療材料費対医業収益比率
スタッフミーティングによるコストへの意識を高める	臨床工学技士	ミーティング実施回数	10回	10回	—	医業収支比率
スタッフミーティングの就業時間内実施	臨床工学技士	就業時間内実施	60%	53.30%	60%	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	臨床検査科	総括責任者	科長 関口 博子
—		副責任者	科長代理 久保谷久子・内田正則・間地知子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①新型コロナウイルス感染症に対する安定的な検査体制を構築します。
②他職種連携により質の高い医療を提供します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
新型コロナ関連検査の出来る技師を増やす。	臨床検査技師	検査可能な技師数	13人	9人	10人	(なし)
乳腺カンファレンスに参加し知識や技術を向上させる。	医師・臨床検査技師・放射線技師	開催数・参加人数	1回/月(術後) 1回/週(術前)	12回(術後)32人 45回(術前)117人	11回(術後)	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんが安心して受診出来る環境作りとして、十分な感染対策のもと採血待ち時間短縮に務めます。また採血混雑時間帯に対しての対策を考えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
検体検査室では採血待人数・待ち時間などが表示されるため採血室担当者との連携により調整をはかる	臨床検査技師	待ち時間	15分	10分	15分	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

新型コロナ関連検査に対応します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
新型コロナ関連検査の外部委託を減らす。	医師・看護師・臨床検査技師	外部委託件数	1,200件	729件	2,601件	経常収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	栄養科	総括責任者	科長 古屋 久美子
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 質の高い栄養計画の立案、実施に努め、チーム医療に貢献します。
② 地域の栄養連携を積極的に実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
入院中の積極的栄養介入	管理栄養士	計画提案数	50件	50件	未調査	(なし)
病棟カンファレンスへの参加	管理栄養士	参加病棟数	4病棟	7病棟	2病棟	(なし)
地域連携栄養サマリー発行	管理栄養士	記入発行数	12件	35件	1件	(なし)

II 患者満足の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① おいしく、治療に結びついた安全な給食提供に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
嗜好調査結果をふまえた献立見直し (全体の料理変更)	管理栄養士、給食委託業者	改定日数	6日/21日サイクル	10日	0	患者満足度
嗜好調査結果をふまえた献立見直し (高齢者への対応変更)	管理栄養士、給食委託業者	改定食種数	10食種	11食種	0	患者満足度
入院食の満足度を上げる	管理栄養士、給食委託業者	お褒めの手紙数	50件	263件	未調査	患者満足度
ホームページの更新	管理栄養士	更新回数	1回	1回	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点 【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 給食材料の見直しを行い、食材費の節約に努めます。
② 病院経営を意識した業務実施に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
入院時栄養指導の増加	管理栄養士	入院時個別指導件数	900件	874件	786件	入院診療単価
経腸栄養製品の見直し	管理栄養士、給食委託業者	使用額 (円/kcal)	0.75円	0.807円	0.793円	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	医療安全管理室	総括責任者	室長	杉木 正
—		副責任者	室長代理	片岡 誠

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

安全で質の高い医療を提供する環境を整備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
リスク管理を推進する	統括医療安全管理者 医療安全管理室長 医療安全管理者 セーフティマネージャー 医療安全担当者 セーフティスタッフ	アクシデント・インシデントレポートの報告数	3,000件以上	3,278件	3,020件	(なし)
		アクシデント・インシデントレポートのレベル3以上の報告数	50件以下	28件	34件	(なし)
		インシデントレポート第一報 報告平均日数	2日以内	1.16日	1.39日	(なし)
医療安全管理者会(医療安全カンファレンス)	医療安全管理部門	カンファレンス回数	40回	40回	42回	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

院内医療事故の発生を防止するよう努め、患者さんが安心して受診、療養できる環境を整えます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
レベル3b以上のアクシデント報告数が前年度以下になるように再発防止策の提案に努める	統括医療安全管理者 医療安全管理者 セーフティマネージャー 医療安全担当者 セーフティスタッフ	レベル3b以上のアクシデント報告数	2件以下	2件	1件	(なし)
		再発防止策の提案	2種	5種	4種	(なし)
転倒・転落による損傷発生率を低減する	統括医療安全管理者 医療安全管理者 セーフティマネージャー 医療安全担当者 セーフティスタッフ	転倒・転落 レベル2以上の発生率(医療の質の評価 クリニカルインディケーター 中央値)	0.0006	0.00021	0.00029	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

医療安全対策に関する施設基準の取得を維持します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
医療安全対策地域連携基準の維持	医療安全管理部門	医療安全対策相互評価実施	6施設 実施	6施設実施	6施設 実施	(なし)
ガイドラインに準じた肺血栓塞栓予防の実施	医療安全管理部門	肺血栓塞栓症予防管理料算定件数	2,000件	1,923件	1,874件	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	感染対策室	総括責任者	感染対策室長 石井 美千代
—		副責任者	

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ① 医療関連感染の予防に努め感染防止策を啓発します。
- ② 医療関連感染発生時は早期にアプローチし感染拡大を防止します。
- ③ 抗菌薬の適正使用を推進します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
感染制御チーム(IGT)ラウンドと改善への介入	ICT	チェック項目の遵守率	前年度より改善	94%	93.0%	(なし)
血液培養陽性および規制抗菌薬使用患者への介入	AST	広域抗菌薬延べ使用日数	前年度より改善	5,881日	4,640日	(なし)
感染対策連携医療機関(平塚茅ヶ崎連携)との抗菌薬、耐性菌、手指衛生の情報共有	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	感染情報の共有と評価	実施	実施	なし	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者さんや市民の皆さまに向けて感染防止策をわかりやすく発信します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
市民向け講座の実施	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	市民講座の回数	3回	6回	2回	(なし)
ホームページの更新	医師・看護師・薬剤師・臨床検査技師	更新回数	1回	5回	1回	情報発信件数

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

新型コロナウイルス感染症による院内感染を防止します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
適切な手指衛生の推進	ICT・リンクナース	1患者1日当たりの手指消毒回数(一般病棟看護師)	16回/1患者/日	19.7回/1患者/日	15回/1患者/日	(なし)
全職員対象研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	受講率	90%以上	100%	100%	(なし)
部門別研修の実施	ICT(感染コントロールチーム)	実施回数	各部署1回以上	11回	1回	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	女屋早苗
—		副責任者		

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域における高度急性期医療を担う病院としての役割を果たすために、地域の関係機関・後方連携機関との連携を密にします。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
介護支援等連携指導、退院時共同指導等(Webも含む)で互いの情報や患者情報を共有する。	退院調整看護師、MSW、医師など	介護支援等連携指導、退院時共同指導における連携施設との面談回数	20施設以上と3回	26施設と年3回情報共有を実施	22施設と3回以上の面談(1指導に複数施設参加あり)	(なし)
地域関係機関主催の会議(Webも含む)に出席する	退院調整看護師、MSW、医師など	会議出席回数	10回以上/年	17回/年	3/年 (BIG netのみWebで)	(なし)
近隣の二次救急医療機関や後方連携機関に訪問し、当院の機能、役割、当院が対応可能な疾患などについて広報させて頂くとともに、急性期治療後の速やかな転院に関する協力をお願いをする。	退院調整看護師、MSW、医師など	訪問回数	30件以上/年	26回/年 3施設に2回以上 23施設に1回訪問	関係機関への訪問は0回	(なし)

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者・家族が安心して入院し、退院後の療養の場に移行できるよう支援します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者・家族が安心して入院できるよう、入院前面談対象患者を拡大する	医師、外来看護師、PFM看護師、事務員、薬剤師、栄養士、医事課、退院調整看護師、MSW、病棟看護師	入院時支援加算月算定件数(年間)	入院前面談拡大予定の3診療科の令和元年度の予定入院患者数の50% 350件/年	入院前面談件数 432件/年 算定件数363件/年	入院前面談実施件数 94件/年 (入院時支援加算算定数65件/年)	(なし)
患者・家族が安心して退院できるよう退院支援を実施する	医師、病棟看護師、退院調整看護師、MSW	入退院支援加算月算定件数(平均)	平均250件/月	平均272件/月	平均177件/月	(なし)
患者・家族が安心して退院できるように地域と連携し、医療・ケアが継続できるよう、介護支援等連携指導や退院時共同指導を(Webも含めて)実施する	退院調整看護師、MSW 医師、病棟看護師	介護支援等連携指導、退院時共同指導件数	介護支援等連携指導100件/年 退院時共同指導60件/年	介護支援等連携指導60件/年 退院時共同指導25件/年	介護支援等連携指導89件/年 退院時共同指導38件/年	(なし)
がん相談支援センターとしての業務を遂行する	がん相談支援センター専従看護師、退院調整看護師、	がん相談対応件数(月)	120件/年	198件/年	89件/年	(なし)
患者が安心して入院生活を過ごせるようリエゾンチームの一としての業務を遂行する	PSW、公認心理師	精神科リエゾンチーム加算(年)	1,500件/年	1,229件/年	1,481件/年	(なし)

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	入退院支援・医療相談室	総括責任者	室長	女屋早苗
—		副責任者		

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

経営参画を意識し、貢献します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
フレックスの導入、緊急対応の当番制など業務の効率化による時間外勤務の削減	退院調整看護師、MSW、がん相談支援センター看護師、PSW、公認心理師、事務員	1人あたり時間外勤務時間数(月)	各自前年度の10%減	平均15時間/月	平均15時間/月(ばらつきあり)	職員給与費対医業収益比率
退院支援に関連する診療報酬を算定します	退院調整看護師、MSW、がん相談支援センター看護師、PSW、公認心理師、事務員	入退院支援加算算定件数(月) 介護支援等連携指導件数(年) 退院時共同指導件数(年)	入退院支援加算算定件数250件/月 介護支援等連携指導100件/年 退院時共同指導60件/年	入退院支援加算算定件数272件/月 介護支援等連携指導60件/年 退院時共同指導25件/年	入退院支援加算算定件数177件/月 介護支援等連携指導89件/年 退院時共同指導38件/年	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—		副責任者	担当長 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

I 医療の質と効率の視点 【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①平塚市民病院将来構想を着実に推進します。
②適正に病院会計業務を遂行します。
③院内への将来構想の理念の浸透に努めます。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
経営戦略に対するKPIの進捗状況の自己点検及び平塚市民病院運営審議会の外部点検による適切な監理	事務職	進捗点検の実施	2回	2回	2回	(なし)
職員行動計画の策定及び進捗管理	事務職	進捗点検の実施	1回	1回	1回	(なし)
財務データに基づく出納状況の随時把握と財務資料の定期的な作成	事務職	翌月末を期限に提出	12回	12回	12回	(なし)
行動計画策定プロジェクトチームの設置及びワークショップHCHの運営管理	事務職	次年度に向けた提案	完了	完了	なし	(なし)
財務システムによる企業債の管理	事務職	企業債の財務システム管理を実施	完了	完了	なし	(なし)

II 患者満足度の視点 【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

患者、市民に対して、積極的に情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
外来における非接触式問診用機材の整備	事務職	非接触式問診の開始	完了	完了	なし	(なし)
病院広報誌「SMILE！」の発行	医師、看護職、医療技術職、事務職	発行回数	4回	4回	4回	情報発信件数
ホームページの充実	医師、看護職、医療技術職、事務職	ホームページアクセス数	23,000回/月	30,737回/月	22,917回/月	情報発信件数

職員行動計画書

【令和3年度】

課名	経営企画課	総括責任者	課長	相澤 史幸
—		副責任者	担当長 担当長	千葉 伸吾 高梨 一広

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①事業運転資金を確保します。
②経営健全化のため、経営改善を実施します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	経営戦略会議での分析報告回数	4回	7回	5回	経常収支比率
病院や各部署の特徴、弱点、傾向を分析し、経営幹部や現場へ還元	事務職	各部署への情報還元回数	18回	20回	8回	経常収支比率
現金・預金残高の常時把握及び必要に応じた関係部署との調整及び資金調達	事務職	現金預金残高の増加	前年度末以上	4,322,995,062円	1,813,451,723円	(なし)
年度別重要目標の設定と数値管理	事務職	目標設定とモニタリング	完了	完了	なし	(なし)
個室、分娩介助料の見直し	事務職	個室、分娩介助料の見直し	完了	完了	なし	医業収支比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	病院総務課	総括責任者	課長	野上 正志
—		副責任者	課長代理 担当長	高田 誠二 木村 明智

I 医療の質と効率の視点【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

高度な医療に必要な医療機器を効率的に調達します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
効率的な医療機器等の調達	医師、医療技術職、看護職、事務職	予算残額	1,000,000円	306,586円	4,278,000円	(なし)

II 患者満足度の視点【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

療養環境の向上、提供する診療機能の向上を目指します

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者からの施設に関する意見への丁寧な対応	事務職	満足度調査(施設面)の満足度	施設面各項目において前年度の平均点維持	4.4点	3.9点	患者満足度
患者への診療機能向上のためのMRI整備	事務職、医師、医療技術職	MRI機器及び工事発注	発注完了	MRI発注済み 改修工事着工	設計中	患者満足度

III 経営・財務の視点【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

効率的な資材調達等の実施及び働き方改革の推進で、健全経営の実現に努めます

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
SPD業者との診材及び薬品の調達協議	薬剤師、事務職	SPD業績評価会	4回	3回	2回	医業収支比率
健康面での時間外勤務の削減	事務職	時間外勤務月80時間を超えた延べ人数	3人	3人	6人	職員給与費対医業収益比率
費用面での時間外勤務の削減	事務職	課の時間外勤務の合計	5,500時間	6,096時間 (選挙、管理職分除く5,421時間)	5,698時間	職員給与費対医業収益比率
定数条例の改正	事務職	定数	815人	改正完了815人	692人	職員給与費対医業収益比率

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	近藤 俊男 田邊 高達 芦野 義明

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①医療現場における事務の体制強化を図ります。
②医療の質の向上と効率化を図ります。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
医療事務の外来・入院部門、救急医療部門の体制強化(医療の質の向上)のため委託業者の選定	事務職	実施有無	有	有	—	(なし)
クリニカルパス利用の促進	事務職	パス利用数	3,000件	3,009件	2,572件	(なし)
地域医療連携登録医へのアンケート	医師、事務職	開催回数	1回(5or6月)	1回	1回(4月経営企画課による)	紹介率・逆紹介率
連携医療機関への訪問(医師同伴件数を増やす)	事務職、医師、看護師、MSW、PSW	年間件数	80件(うち医師同伴20件)	120件	69件	紹介率・逆紹介率
ドクターズクラークの業務の平準化	事務職	ドクターズクラークの配置異動の実施	有	有	有	(なし)
連携先医療機関への情報発信の強化	事務職	情報発信回数	4回／年	7回	—	紹介率・逆紹介率

II 患者満足度の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①患者ニーズを捉え、満足度の高い医療の提供を図ります。
②当院の医療提供体制を分かりやすく発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
患者満足度調査の実施	事務職	実施回数	1回以上	有	1回	(なし)
利用者の声の実現	事務職	実現件数	2件	2件	1件	(なし)
病院広報誌「SMILE!」紙面上での医療機能分化啓発記事の掲載	事務職	紙面掲載回数	1回以上	0回	0回	情報発信件数
病院ホームページ医事課及び地域連携ページの更新	事務職	更新回数	4回以上	4回	5回	情報発信件数
「疾患・治療の説明書」の新規作成	医師、事務職	新規作成数	2種類	無	0種類	患者満足度
特別入院室使用料と分べん助料の見直し	事務職	条例の改正の実施	有	無	—	患者満足度

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	医事課	総括責任者	課長	田丸 勝巳
—		副責任者	担当長	近藤 俊男 田邊 高達 芦野 義明

Ⅲ 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

- ①施設基準の取得を推進します。
②コスト意識を持って経営に参画します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
新規施設基準の取得	事務職	件数	5件	2件	16件	入院診療単価
委託業者への収益診断及び精度調査実施の管理	事務職	回数	2回	1回	2回	医業収支比率
現年度未収金額の減少	事務職	未収金額	前年度比3%減	1%減	24%減	医業収支比率
クリニック、病院からの紹介予約件数	事務職	受入件数	外来225件/月 検査210件/月	外来 213件/月 検査 198件/月	外来199件/月 検査187件/月	外来診療単価

職員行動計画書

【令和3年度】

科名	災害医療企画室	総括責任者	室長 松原 隆
—	—	副責任者	副室長 高田 佳奈子

I 医療の質と効率の視点

【将来構想】50～52ページ

経営戦略	(ア) 高度な医療	質の高い高度医療の提供
		地域に根ざした急性期・救命医療の実施
	(イ) 地域医療	地域医療連携の充実と指導的役割
	(ウ) チーム医療	チーム医療と診療科連携の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

災害拠点病院として機能の向上を目指します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
災害対応医療訓練の実施	訓練参加職員	参加数	50人	39人	20人(R元29人)	(なし)
自動参集訓練の実施	訓練参加職員	参加数	50人	50人	0人(R元65人)	(なし)
病院消防訓練の実施	訓練参加職員	参加数	50人	74人	20人(R元53人)	(なし)

II 患者満足の視点

【将来構想】53～55ページ

経営戦略	(ア) 患者さんや市民の皆さんのために尽くす役務の提供	政策的医療の実現
		患者満足度の高い役務の提供
	(イ) 情報発信	地域住民への情報発信の充実

「経営戦略」実現のための行動目標

地域住民や患者に病院周辺の災害状況の情報を発信します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
ホームページ上に災害状況の情報提供	所属職員全員	情報提供の実施	実施	なし	なし	(なし)

III 経営・財務の視点

【将来構想】56～61ページ

経営戦略	(ア) マネジメント	健全経営の実施
	(イ) 職員の意識改革	全職員の経営参画への意識醸成

「経営戦略」実現のための行動目標

災害時に医療が提供できるよう準備します。

目標達成のための行動計画	計画実行者	成果指標	R3目標値	R3実績	R2実績	KPI (重要業績評価指標)
災害対応マニュアルの改訂	所属職員全員	改訂回数	1回	1回	なし	(なし)